

第七期子ども司書の

学びを終えた君たちへ

子ども司書の学びの日々を振り返って、どの日が一番楽しかったですか？ どの日が一番勉強になりましたか？ 今日、子ども司書の学びと活動のカリキュラムを全部こなして迎えた、いわば卒業式ですね。

おめでとう。

子ども司書の講習に手を挙げて参加したことは、ふだんの授業とは違う学びに興味をもち、チャレンジしようとしたからですね。そして、図書館というところが、どのように本を整理して並べ、利用する人たちのためにどのようなサービスをしているかを、自分自身でやってみて学んだわけですね。それだけでなく、大きな図書館を訪ねて、図書館が実に様々な本や資料を集め、いろいろな役割を果たしていることも知りましたね。さらに自然の中を歩いて、季節の変化によって、花や風景が変わるのをしっかりと観察して味わうことを、俳句を詠む活動で学びましたね。それは本を読むだけでなく、自分で感情や思いを表現する活動になるわけですね。多くの見学をしましたね。

それだけの学びをしたことは、小学生時代の決められた授業以外の学びをしたことになります。その経験は、単に本についての知識を広く持つようになっただけでなく、これから中学生、高校生へと成長していく中で、きつと自分では気づかなくても、新しい学びをしていくにあたって、理解力を二倍にも三倍にもしたと思います。子ども司書の講習の貴重な経験を、しっかりと心に刻んで忘れないうようにしてください。

君たちの一層の成長を期待しています。

平成二十八年二月二十三日

作家 柳田 邦男